

完了後の評価個表

整理番号	2
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	千葉県									
事業実施地区名	上三原 (かみみはら)	事業計画期間	昭和48年度～平成23年度(39年間)									
関係市町村名	南房総市	事業実施主体	千葉県									
完了後経過年数	5年	管理主体	千葉県									
事業の概要・目的	<p>本地区はJR和田浦駅より北西約5kmの、千葉県南部の地すべり多発地帯内に位置する。地質は新第三紀の佐久間層群を中心とし、構造運動による破碎を受けた泥岩・砂岩が豊富な地下水により風化・粘土化し、地すべりを発生させている。このため、本地区では台風や梅雨の豪雨等に起因する千葉県特有の小規模な地すべりが多発し、人家や道路等に被害を与え、地域住民の生活を脅かしていた。このような状況から、地元の強い要請を受け、昭和47年度に地すべり防止区域に指定し、生活基盤の保全を図ることを目的に、地すべり滑動の抑止と荒廃溪流の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な実施内容：山腹工12.8ha（土留工693.4m、水路工1,061.9m、暗渠工8,148.3m、アンカー工845.7m等） 溪間工 4.7ha（谷止工16基、護岸工774.2m、流路工292.3m） ・総事業費：1,554,027千円 											
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の費用対効果分析における主な効果は、山地保全便益であり、山腹工及び溪間工の施工により、山腹斜面の土砂移動及び溪床に堆積した不安定土砂の流出を防止し、下流の集落、県・市道、農地等を山地災害から保全する効果である。人家戸数、県及び市道には特段の変化は見られないものの、人口減少、高齢化が進み、農地の利用状況に若干の変化がみられる。</p> <p>なお、平成28年度の費用便益分析算定方法の見直しにより、過去の事業費にデフレーターを用いて算出したことから、費用が大幅に増加している。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>6,795,141千円</td> <td>(平成19年度評価時点：7,955,284千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>5,037,251千円</td> <td>(平成19年度評価時点：3,120,599千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.35</td> <td>(平成19年度評価時点：2.55)</td> </tr> </table>			総便益(B)	6,795,141千円	(平成19年度評価時点：7,955,284千円)	総費用(C)	5,037,251千円	(平成19年度評価時点：3,120,599千円)	分析結果(B/C)	1.35	(平成19年度評価時点：2.55)
総便益(B)	6,795,141千円	(平成19年度評価時点：7,955,284千円)										
総費用(C)	5,037,251千円	(平成19年度評価時点：3,120,599千円)										
分析結果(B/C)	1.35	(平成19年度評価時点：2.55)										
② 事業効果の発現状況	<p>本事業は、山地を保全することにより山地災害防止機能の維持・増進を主目的としており、事業を実施したことで、地すべりが抑制され、山地災害による被害の軽減、影響を受けるおそれのあった集落・農地・県道及び市道等の安全が保たれている。</p>											
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>千葉県において、市役所、南房総市地すべり対策協議会役員及び地域住民と共同で定期的に現地調査を行い、必要に応じ補修を実施して適切に管理している。</p>											
④ 事業実施による環境の変化	<p>本事業の実施により、地すべりによる山腹斜面の土砂の移動が防止され、山腹の植生が回復している。また、地すべり防止施設は主に地下水を排除するものであり、地中に潜る構造物が多いことから、景観への影響は小さい。</p>											

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>事業完了時から特段の変化はなく、本事業は、山地災害の防止を目的とする事業であり、地すべりが抑制されたことにより、人家や県道・市道、農地等の保全が図られている。</p> <p>主な保全対象：人家 31戸、農地 15ha、道路 5.0km</p>
⑥ 今後の課題等	<p>今後も地すべり防止施設の機能維持のため、南房総市や南房総市地すべり対策協議会、地域住民と協力しながら、定期的な点検、適切な維持管理を継続して実施していく。また、本地区は脆弱な地質であるため、必要に応じて新たな地すべり防止事業の実施を検討する必要がある。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 必要性： 地すべり状況調査を実施した結果、地すべり活動が活発な状況であり、豪雨等による人家等への土砂災害の恐れがあったため、地すべりを防止する必要がある、事業の必要性が認められる。・ 効率性： 地すべり対策工の計画に当たっては、適用する対策工法を比較検討し現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。・ 有効性： 地すべりの抑制が図られたことにより、集落等への土砂災害が解消され、今後も事業効果の発現が見込まれていることから、地域住民の安心・安全な生活が確保されており、事業の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：地すべり防止事業

都道府県名：千葉

施行箇所：千葉県南房総市 上三原

(単位：千円)

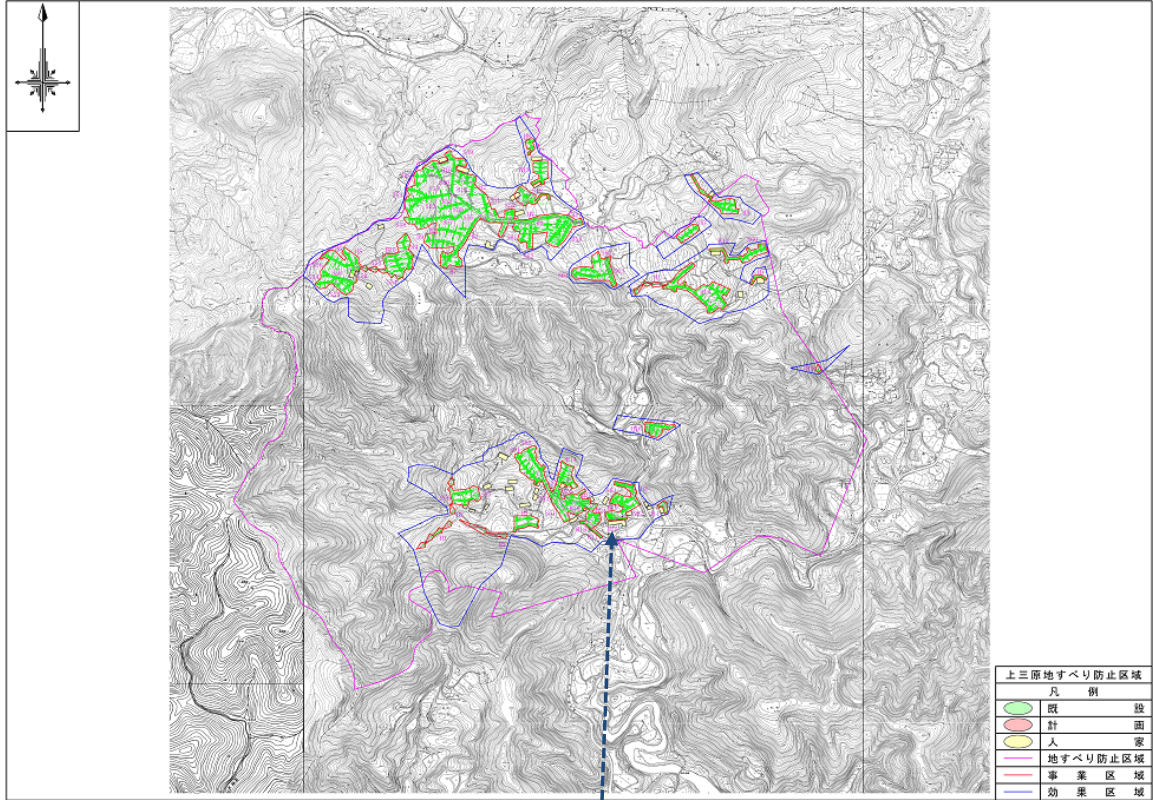
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,794,279	
	土砂崩壊防止便益	862	
総 便 益 (B)		6,795,141	
総 費 用 (C)		5,037,251	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,795,141}{5,037,251} = 1.35$		

評価箇所概要図

整理番号	1
------	---

千葉県

事業名	民有林治山事業(地すべり防止)	地区名	上三原(千葉県南房総市)
-----	-----------------	-----	--------------



<施工前>
平成19年度撮影



<完 成>
平成20年度撮影



<現 況>
平成29年度撮影



<保全対象 南房総市 自然の宿「くすの木」>
旧上三原小学校(平成7年閉校)

